



GHANA

ともに生きよう

時広美佐恵

山口県周南市立勝間小学校

- ◆実践教科 (合科的に)
- ◆時間数 17時間 + α
- ◆対象学年 1学年
- ◆対象人数 30名 (内2時間は1学年合同90名)



カリキュラム

■実践の目的

- ・ガーナで得た資料を通して、自他の違いを受け入れ、互いのよさを見つけ、ともに生きようとする心情の基礎を培う。

■授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1時限目 気持ちがピッタリ (学活) 日頃、声を掛けていなかった友だちに目を向け、互いに気づき合うことのよさを感じる。	・ガーナの風習を取り入れたあいさつゲームを通して、話し合う。	自作ゲーム
2時限目 どちらの国の話かな (国語) 肌の色や生活に違うところもあるけれど、同じ人間で同じようなことも多いことを知る。	・ガーナの友だち紹介とカード分けを通して話し合う。	写真 自作カード
3、4時限目 どの写真が好き (国語) ガーナの情報を自分で掘みながら、もっと知ろうという気持ちを高める。	・9枚の写真の中で好きな写真を選び、活動している隊員紹介に手紙を書く。	写真 DVD
5時限目 ともに生きる(道徳) 人としての心の交流や思いやりを学ぶ。	・武辺隊員の実話に基づいた簡単なシュミレーションを通して、ともに生きることについて考える。	自作資料 写真
6、7時限目 たのしいリズム (音楽) 気持ちを伝えたり、気持ちをまとめたりするリズムのよさに触れる。	・リズム学習として、言葉あてゲーム、足ジャンケン、リズム打ちに挑戦する。	DVD 写真
8、9時限 チャレンジ集会に挑戦 (学活) ガーナのこと教え隊として、ガーナ版〇×クイズをつくる。	・児童集会のワークショップに向け、ガーナのクイズづくりをし、発表できるようにする。	今までの資料
10、11時限目 自分が思う国の旗(図工) 平和への意思や色やシンボルの意味を知り、自分自身の旗を作り、互いの考えを知る。	・色や模様の意味当てゲームをし、自分の旗を作り、その中に込めた意味を発表する	写真・国旗 カード
12~17時限 ガーナからの便り (国語) 人としての心の交流や思いやりを学ぶ。 ガーナの情報を自分で掘み、手紙を書く。	・ガーナについての質問に対する答えを聞いた り、読んだりする。 ・考えを発表し、お礼の手紙を書く。	メール、地図 パワーポイント、 地球儀

授業の詳細

1 時限目 気持ちがピツパリ

- 1 互いの気持ちを贈る活動（愛情手裏剣送り）をすることにより、温かな雰囲気を作ると共に、次の活動の目標を意識しやすくする。
- 2 なかよし国のあいさつチャンピオンをめざそうともちかけ、教師による手本により興味関心を高める。
- 3 あいさつゲームを教師も一緒になって楽しみながら、場の雰囲気づくりをし、互いの気持ちがつながったときの気持ちよさを感じ取るとともに、積極的に関わりを持つ子を増やしていくようにする。
- 4 考えたことをシェアし、自分に気づいてもらったときの嬉しさを共有し、みんなで声を掛け合おうという気持ちが高まるようにする。

なかよしこくの あいさつしかた

- きづいてもらうほうほう
 - ・きづいてほしい人のほうをみて、「ブス」「ス」と、いきの音を出します。
- おたがいのあいずにきづいたとき
 - ・はしらずに、きづいたよというあいずのよこびことば「エイー」をいいながら、ちかづいて、あく手をします。
- あく手のあと
 - ・カードに名まえをかきあって、「メダーシありがとう」といって、つぎの人にちょうせんします。



振り返りの時の発表

楽しかった。みんなが自分に気がついたし、自分もみんなの合図に気づけた。みんなにサインをしてもらった。進んでやると、友達がいっぱいできた。心が温かくなった。みんなの心がつながって、うれしかった。すっきりした。みんなと仲良くなった。みんなと楽しくやったら、本当に楽しかった。友だちのことが前より分

かった。生き生きした。たくさんの友だちと話せて、明るい気持ち。心がほっとした。みんながメダーシと言うとき、にこにこしていた。

参観者の感想

とても楽しく子ども達と関わる時間を過ごしました。最初に『手裏剣ゲーム』を行うことにより、その後の授業が進めやすい温かな雰囲気づくりができていたと思います。『なかよし国のあいさつ』もたくさんの友だちとあいさつをするために、進んで仲よくしていこうとする姿が多く見られました。また、最後に感想を発表するときに、聞く姿勢ができていたので素晴らしいと思いました。1年生の時からこのような態度を身につけさせるのはとても大切だと思います。本当に参考になることが多い1時間でした。感動しました。このようにして、子ども達を育てるのだなあと感じました。

2 時限目 どちらの国の話かな

- 1 ガーナとガーナの子どもを紹介し、写真から同じ人間だと意識できるようにする。
- 2 話し合いのルールの下に、18枚のカードをガーナと日本に分け、いくつかのカードについて考え合う。
- 3 カードをひっくり返し、答え合わせをすることにより、新たな疑問をもって、学習の振り返りをする。

ガーナのクドー君と日本の太郎君の見たもの

- 1 配られた日本とガーナのことを書いたカード18枚を2つの国に同数ずつ分ける。
- 2 分けるときに、自分の考えを話す。人の話をきちんと聞いて、みんなの考えをまとめる。
- 3 カードを裏返して、答え合わせをする。（納得のいかないカードに対して、考えをいう。）

【カードの項目】うちの言葉と学校での言葉が違う。食べる前に必ず手を洗う。年上の人を尊敬している。認め合うからけんかはしない。家ではよく本を読む。バスがくるまで1列に並んで待つ。お医者さんになりたい。誰にも元気よくあいさつをする。重い物を持って平気。キリンを見たことがある。教科書は持って帰る。学校でよく歯を磨いている。はくの名前に決められた願いを知っている。蚊に刺されても平気だ。落

とし物は落とし物入れに入れる。水を大切にするように注意される。お手伝いをしておこづかいをもらうことがある。おじいちゃんに席をゆずることがある。



■ 班活動の後 (T:担任 C:児童)

Tどちらかはっきりしなかったカードについて、友だちから意見を言ってもらいましょう。

C「落とし物箱を見たことはありません。」は、どちらの国でしょう。

Tガーナだと思う人は、意見を言いましょ。

C優しい人だから、落とし物をしないから。

C落とし物箱を病院で見たことがあるから。

C納得。

C「年上の人が尊敬されている」は？

Cガーナだと思います。先生がなかよし国は、ガーナ国だと言ったから。

C仲よくする大人は尊敬されると思うからです。

Cガーナでは、大人の人に逆らわないのではなくて尊敬して、自分からお手伝いをしている。

(テレビ番組を関係づけた発言)

T〇さんは、一つのことからからも、色々な見方ができるのですね。

C〇〇君すごーい。C (拍手)

C「席を譲ることがある」のカードは？

Cガーナだと思います。優しい人が多いから。

C私もです。私が代わってもらうからです。

Cガーナだと思います。席が空いていたら、ほくなら、すぐに座るからです。

C席を変ったこともあるから日本のことです。

T「ことがある」というのだから・・・。

Cわかった。いつも譲るのではない。ほくも、たまには代わることもあるよ。(C全員納得)

C「学校での言葉とうちでの言葉がちがう」のが、はてな。

C日本だと思います。学校ではきちんとした言葉を使うけど、家では甘えた声を出すからです。

(数名、同意見を発言)

T答え合わせをさせ、ガーナの文化や医学の制度を簡単に説明した。

児童の感想

話し合ううちに、ガーナの知らないことが分かってうれしかった。もっと知りたい。(トイレのこと。短い髪の毛のこと。ガーナの人が手をきちんと洗うわけ。年長者に席を譲ることが当たり前なわけ。日本の100円で買えるもの。生活の様子。)教科書をあげたい。ノートを持っていない人がいるし、同じ教科書をみんな使っているのに、がんばっている。水くみは大変だと思うけど、がんばってほしい。友だちになりたい。ガーナの人が好きになった。クイズやなぞなぞみたいな感じだったから、おもしろかった。ガーナに住んでいるクドー君のこともよく分かった。グループでもみんなにも発表をいっぱいして、わけも一生懸命に言ったのですっきりした。パズルも楽しかった。少しくイズが難しかったけど、グループで話すとき答えられてよかった。顔は、茶色くても、人間だから仲よくなりたい。分からないこともあったけど、間違えても一生懸命に考えて楽しかった。知らない町に、知らない人がいて、知らないことをしていることがわかった。

3・4 時限目

どの写真が好き

- 1 好きな写真(わけ)・不思議なこと・想像した話などについて、班の司会者を中心に、自分の考えを発表する。(グループ→全体)
- 2 青年海外協力隊として働いている日本人に目を向けた意見を取り上げ、協力隊の方からのビデオレターからガーナの人々のよさを知る。
- 3 協力隊の方にガーナについての質問を書く。
(後日、E-mailを送信)
- 4 学習の振り返りをする。

児童の感想

楽しかった。色々な写真がおもしろかった。発表がいっぱいできた。話し合っ、ガーナのことがいっぱいわかった。ガーナの子どもは元気で、仲よく遊んでいる。大人の人がんばっている。裸足だった。いろいろな顔がある。ガーナのダンスや太鼓が好き。ガーナの人と仲良くなりたい。また、調べたい。手紙を書けてよかった。ガーナの生活はきびしいと思った。ガーナの人親切なんだな。



「どの写真が好き」で使った写真

5 時限目 ともに生きる

- 1 武辺さんの写真を提示し、みんなでガーナの人を助けに行く武辺さんに力を貸そうと持ちかけ、気温が高い状態で、乗り合いバスを降りて、10キロの道のりを歩いて村に行く武辺さんとみんなが一緒に活動するために何を持って行くか、理由つきで発言させた。

【児童の意見】 扇風機、アイスクリーム、帽子、バイク、自転車、水筒・飲み物、リュック、水、靴、食べ物、Tシャツ、うちわ

- 2 友達の発言に対して、意見を発表する時間をとると、電気・道路事情やガソリン等の燃料、気候などの状況を発言をし、最終的に服装・リュック・水（水筒）と食べ物が残った。



- 3 暑く遠い道のりで、水も飲み干し、食べ物もなくなったけれど、なんとか村にたどり着いた武辺さんが見たものは、十分な食べ物がなく、困っている村人だったことを補足し、それでも、鶏を飼うことに目を向け、村のお金も増えたことと、日照りが続いて、みんなが植えた野菜もトウモロコシも枯れてしまったことを話し、助けるために、何をするか話し合った。

【児童の意見】 水を探してくる。水を買いに行く。できれば、井戸を掘る。種をまいて育てる。村の隅々、森の中、地面の中、川など食べ物を探す。食べ物を得るための道具作りを教える。村の人と協力して、枯れない食べ物の種を植えて育てる。てるてる坊主を作って雨が降るようにお祈りする。鶏がいたのなら、他に鳥がいるから探す。村の人に水や食べられそうな物や種がありそうな所を聞いて、一緒に探す。日本の野菜や果物を持って行き、種を取り出して植える。

- 4 がんばって探したところ、日照りに負けずに育っていたパイナップルに気づいたことを話した。パイナップルをどのように利益に結びつけたかを説明した後、得たお金をどうするかを尋ねた。

【児童の意見】 食べ物や水を買う。チョコレート工場をつくる。もっとパイナップル畑を広げる。病気の人やのどが渇いている人を助ける。ガーナの人にお金を分ける。また、枯れるかもしれないので、水や食べ物を蓄える。強い野菜の種を買うか探すかして育てる。パイナップルを自分たちでも食べる。病院を建てる。畑の道具を買う。学校を作る。よく分からない。水道や井戸を作る。

- 5 話し合いを価値づけ、武辺さんが学校をたてたこと・長老になったことや追悼式、歓迎会・記念碑、手紙を提示しながら、20年たった今も感謝されていることを知らせ、武辺さんのことを考えさせた。

【児童の意見】 すごく優しく親切。せっかくお金を儲けたのに、自分のために使わないのがえらい。村の人のために働いたのに死んだからかわいそう。大変だったのに、ガーナの人を助けてすごい。みんなに信じられて、かっこいい。死んだけれど、よくがんばった。博士みたい。いいことをしたから賢い。お金が貯まってよかった。長老さんたちも20年も感謝していて拍手したい。食べ物をたくさん食べていないのに生きていてすごい。武辺さんが生きていたら、みんなもっと楽しかったと思う。パイナップルを見つけ出したのがすごい。

- 6 学習の振り返りをした。授業後、「武辺さんのように、みんなのことを考えて行動している友達がありますね。」というみんなが背中を伸ばした。

児童の感想

もっと詳しく調べたい。パイナップルでガーナの人を救うなんて考えつかなかった。また

考えて発表したい。お金が貯まってよかった。楽しかった。ほくも挑戦したい。みんなが知らないことも発表して、胸がどきどきした。いいことをして、ガーナの人はとても助かったと思う。これからも食料が増えるといい。ガーナの人のことがわかっておもしろかった。死んだことはかわいそうだけど、村人と仲良くなって楽しかったと思う。水がない大変さが分かった。



「ともに生きる」で使った写真

6・7 たのしいリズム

時限目

- 1 ^注 チェ・チェ・コリを流し、ガーナの音への関心を高める。
- 2 言葉あてゲーム、足ジャンケン、手作り楽器でのリズム打ちに挑戦した。
- 3 振り返りシートに書き、学習のまとめをする。
- 4 チェ・チェ・コリをみんなで踊る。

注) ガーナ及び周辺諸国で歌われている民謡で日本のCMでも紹介された。独特の踊りがある。

【ゲームの方法】リズムによる質問カード3枚と答えとなるリズムカードを用意する。教師（質問役の子）が、質問カードから1つ選びリズムのみで質問する。班の答え役の人が答えのカードを選び、リズムで伝える。リズムで答えたカードを残りの子が相談して決める。決めたカードが答えた人の考えと合っていたら、両者にポイントがはいる。



感想

リズムであてっこがおもしろかった。手作り楽器を使った演奏は、おもしろかった。みんなと一緒にやって、元気になった。うれしくなった。また、ガーナのことを知って、ジャンケンゲームの日本版をまねして、みんなでリズム遊びをして楽しかった。また、遊びを教えてほしい。リズムがすごく楽しいから、また挑戦したい。踊りやリズムでお話したのが楽しかった。なかよしポイントが増えた。すごくガーナのリズムはかっこよかった。間違っても、楽しかったよ。みんなとリズムを合わせると明るい気持ちになった。もっと、ガーナのことを詳しく知りたくなった。

8・9+α チャレンジ集会に挑戦

時限目

児童集会のワークショップに向け、みんなで、ガーナの○×クイズ作りをし、みんなのクイズと足ジャンケンという課題を混ぜた中から、課題を発表できるようにした。児童集会では、3チームに分れて、一人一問課題を出した。



10・11 自分が思う国の旗

時限目

- 1 色や模様の意味合わせゲームをし、これらを使って、自分自身の旗を作るよう促した。
- 2 ガーナの国旗と奴隷制の時の写真を提示し、色やシンボルの意味を織り交ぜながら、悲しい過去を省みて、平和な国づくり目指す等の意志が国旗にこめられていることや旗の組み立てを伝えた。
- 3 色と図柄で、大切にしたいを組み合わせて、自分自身の旗を作り、こめた思いを紹介する。
- 4 友だちの旗を見て、思ったことを伝える。
- 5 学習のまとめをする。

作った旗の意味

嘘をつかないで、親切にして、欲張らないで、仲よくする。楽しく生活する。強い気持ちを持って学んでいく。楽しさが広がる。みんなと遊べるように、気持ちを落ち着け、元気である。食べ物やお金に困らないで、元気で正しい心を持つ。正しい心と強い気持ちを持って、勝負強くなる。みんなと仲良く、病気にならない。嘘をつかないで、明るく考えて仲良くなる。へこたれないで、勝負強くなるようにがんばる。嫌いな物でもがんばって食べる。嘘をつかずに誰にでも親切にする。優しく思いやりがある人になる。

児童の感想

気持ちよく楽しく作れた。昔、こんなガーナもあったんだと思った。私たちよりも辛いことがあったけど、ガーナの旗はいい旗と思った。みんなが心を込めて、きれいな上手な旗を作ったので見ていてうれしくて楽しい気持ちになった。かっこいい旗が作れた。ガーナの人も喜んでくれると思う。みんなの旗を見て、私もがんばろうと思った。よく工夫していた。それぞれ違って、みんな素敵だった。穏やかで、優しいかわいい旗ができた。ガーナのことがかかってきた。もっと知りたい。いろいろな人の気持ちを聞いて、楽しかった。みんなにも自分にも一緒にの気持ちがあるのかなと思った。



12-17 ガーナからの便り

時限目

ガーナについての質問に対する答えを聞いたり、読んだりし、ガーナの情報を自分で掴んだ。今回は、質問に答えてもらえるようお願いしたところ、ガーナから帰国されていた小淵さんが来校してくださることになった。子どもを惹きつけながら、にこやかに、ガーナの村の子どもの生活を伝えてくださった。どの子どもも大変喜んで、進んで考えたことを発表し、手紙も一生懸命に書いた。思ったより多くの

メールも返信していただき、ひらがなに直すのは大変だったが、手紙をもらえたことで、いつもより長い文でも、一生懸命に読んでいた。子どもたちは、小淵さんや協力隊の皆さんから、相手の立場に立った思いやりを感じ取ることができ、今後も、考えを深めていくことと思う。



成果と課題

- ・個人的な成果としては、ガーナという国からの素材を使った授業展開を考えることで、今まで見過ごしていた事柄に目を向けることが多くなった。
- ・情報は、個人のフィルターを通して伝えられていることを改めて実感できた。扱いに注意していきたい。
- ・普段の教科学習と異なる側面からの子どもたちの発言や表情を得ることができた。
- ・子どもたちにとって、身近な友達と遠くの友達に目を向け、視野を広げる機会となったと思う。
- ・武辺さんのことを扱った授業も、思ったより生活感のある発表が多く、未知の事柄について、自分の知識や経験を結びつけてよく考えていた。苦労しながらも活動し、20年たった今も感謝され続けていることの意味よりも、亡くなったことの悲しさを感じていた子がいたので、感動的だというビデオ等を含め、資料の提示の仕方を再検討したい。道徳学習とし自分の生活に立ち返るような発問が不十分だったが、実生活の中で、友達を助けるなど、みんなのために進んでよいことをしようとする子が多いのはうれしい。
- ・児童集会でも積極的に、問題を出したり呼び込みをしたりし、今回の取り組みが無駄ではなかったと思った。
- ・今回、お世話になった皆さんに心から感謝しています。これからも、もっとガーナ等の国のことを知る努力をし、少しずつでも理解していきたいと思います。

参考資料

ガーナに掛けた青春(意志あるところ、道は通じる。) THE PRIDE OF EWE KENTE
HANDICRAFTS OF GHANA
ガーナ 混乱と希望の国
事前研修で得た資料等